



岩江中だより

第 42 号
 発行日：平成 28 年 2 月 15 日
 発行：三春町立岩江中学校
 電話：0247-62-8290
 F A X：0247-62-8380
 E-mail:school@iwae-jfks.ed.jp

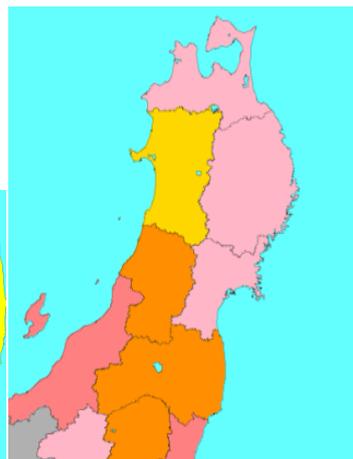
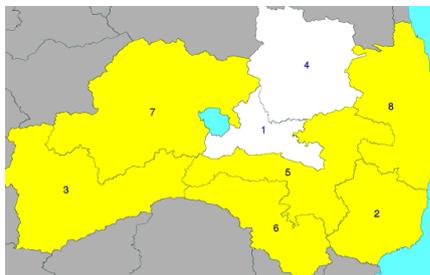
学校経営基本方針『こころ豊かに』～「共に」語り合い、分かち合い、成長する学校～

【インフルエンザの流行が進んでいます。～うがい・手洗いの励行を～】

先日お知らせしたとおり、インフルエンザの流行が始まりましたが、最新の流行マップを見ると、それが急激に進んでいるということでした。

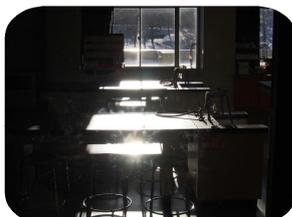
東北地方は全域白から黄色、ピンク、橙と、その流行が進んでいる様子が見て取れます。県内では、会津地方に加え、いわき・相双・県南地区も黄色信号が灯りました。心配しすぎる必要はありませんが、対応には万全を期したいと思います。

先日お知らせした対応の文書に従い、校内での対応を進めてまいりますので、ご家庭におかれましても、日頃以上のご配慮をいただきますようお願いいたします。



【自然の営みを感じます！ ～しずくに光に輝き、教室に暖かな陽ざしが差し込む学校～】

7時過ぎの学校前の横断歩道では、塩ビのパイプからつららが伸びていましたが、室内に戻ってみると、社会科教室には朝のはっきりした光が暖かさをつれて差し込んでいました。午後になると、体育館通路の屋根の上に降り積もった雪が解け、西側からの太陽の光がその雪解け水のしずくを照らし、キラキラ輝いていました。



【ご家庭ではいかがでしょうか？ ～どこでもできる生徒が『自立』した生徒です！～】

今日の1階東側トイレのスリッパです。若干の凸凹はありますが、次の人が使いやすいように、スリッパのつま先は向こうを向いて並んでいます。素晴らしいことです。

さて、ご家庭の玄関やトイレのスリッパの向きはいかがですか？子どもたちの身につけてほしい本物の『自立』。それは、学校でだけできる生徒ではなく、どこでもきちんとスリッパをそろえられる意識と態度です。本当の『自立』をめざし、これからも具体的に働きかけてまいります。



【新入生保護者説明会を開催しました。

～児童のみなさんには22日に実施します。～】

2月5日（金）は、平成28年度入学生の新入生説明会が予定されていましたが、しかし、インフルエンザが流行しているということで、保護者の方のみの説明会に変更いたしました。音楽室を会場に、保護者の方々に、岩江中学校についてご説明いたしました。お忙し



い中ありがとうございました。在校生も先生方もお子様のご入学を楽しみにお待ちしております。

なお、児童のみなさんに岩江中学校を実際に見ていただくことも大切なことですので、児童のみなさんへの説明会は、小学校さんのご理解をいただき、22日（月）に実施することとなりました。

【卒業式の季節が巡ってきました！ ～3年間の思い出を心に～】



「♪白い光の中に山並みは燃えて♪」音楽室を見学に行くと、中から、卒業式の式歌の練習の歌声が聞こえてきました。転じて体育館をのぞくと、3年生が卒業式の隊形に座り、何やら動き方を練習していました。

立派になって巣立っていくことはうれしいことのはずなのに、どうもこの時期は少し寂しい気持ちもいたします。たくさんの時間を共有した素敵な子どもたちとお別れしなくてはならないからです。心を込めて、3年間の締めくくりにあふさわしい、思い出に残る卒業式にしていきたいと思います。

【インドアテニス大会でがんばりました！ ～寒さ・インフルエンザに負けずに。～】

2月11日（木）建国記念の日に、田村市総合体育館において、田村地区のインドアテニス大会が開催されました。本校ソフトテニス部からは3ペアが出場。うち2ペアはファイナルセットまでもつれ込む接戦でした。これまでの練習の成果と課題を改めて確認する大会となりました。

2年生だけでなく、1年生の成長ぶりも目立った大会でした。中学校になってはじめて取り組んだソフトテニス競技ですが、岩江中学校の重要なメンバーとしてがんばる姿が見られました。6月の総合大会めざして、さらに、“がんばれ！”



【緊急時対応施設の建設が整いました。 ～太陽光パネル、体育館への誘導灯完成～】

昨年の夏から始まった緊急災害時対応施設の工事がこのたび、緊急時避難場所の岩江中学校体育館までの2基の誘導灯の設置をもちまして一応の区切りを迎えました。

電気の供給が止まった際の緊急用電源確保のための太陽光パネルの設置。2基の誘導灯は小型太陽光パネルによる自力発電。

できれば緊急時など起こらないことにこしたことはありませんが、いざ起こった際にはそれに対応できる施設の確保が大切です。おかげさまで、町の住民課や教育委員会のお世話で完成することができました。

施設ばかりではなく、いざというときに機能するためには、ハード面と共にソフト面での準備も怠ってはいけません。実際に機能する体制づくりにむけ、事前の準備にも取り組んでまいりたいと思います。

